

9 NPO と企業の協働マッチング会後の協働事業の成果

11月28日(火)会津会場、11月29日(水)福島会場、12月1日(金)いわき会場での「NPOと企業との協働マッチング会」の後、ふくしま地域活動団体サポートセンターのアフターフォローのもとでの参加NPOと参加企業との協働に関する成果または3月末現在の進行状況を以下に報告する。

報告(1)企業イベントへのNPOからの提案

■NPO／A:NPO法人 いわき鳴き砂を守る会

B:NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

■企業／株式会社 福島銀行

①協働事業の内容や目標

福島銀行が年4回実施している「10大イベント」(年間計40回)の企画アイデアをNPOから提案し、協働して企画運営を進める。

②双方のメリット

NPO／自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋がっていく可能性も生まれる。

企業／自社事業において自社のみでは収集が難しい地元密着型の企画や情報を得ることができる。また地域の素材を活かした社会貢献活動として企業イメージのアップにも繋がられる。

③成果または進行状況

3月22日(木)いわき鳴き砂を守る会2通、裏磐梯エコツーリズム1通の企画提案書を提出。

平成30年3月末現在、福島銀行にて企画内容を検討中である。

福島銀行としては「ほかにもNPOとどんな協働が出来るか模索していきたい」との考えあり。

協働に関する資料

資料90101 「ふくぎん春の10大イベント」チラシ(参考)

資料90102 裏磐梯エコツーリズム協会の企画提案書

資料90103 いわき鳴き砂を守る会の企画提案書1

資料90104 いわき鳴き砂を守る会の企画提案書2



2018 ふくぎん 春の10大イベント

～今しかないこの春限定“ふくしま”～

EVENT 1 ひな祭りをもっとおいしく楽しく ひな祭り料理教室

2/26 月 開催地: 福島市 出発地: 現地集合



ひな祭りやこれからの季節にピッタリな「さくら寿司」「さくらもち」「お吸い物」「チキンチーズカツ」を作ります。一年に一回のひな祭りに工夫してみませんか？
講師: 三瓶 静子氏
募集人員15名様・募集中

EVENT 2 ふくぎん社会科見学～マスコミの裏側に迫る！～ 生放送と新聞はこうして作られる

3/23 金 開催地: 福島市 出発地: 福島市

株式会社テレビユー福島放送「げっきんチェック」の放送現場を見学します。生放送ならではの緊張感や放送現場の裏側までお見せします。また、株式会社福島民報社の本社では記者が新聞の校正をしている現場を見学、印刷センターでは紙面になるまでを解説付で見学します。マスコミの裏側に密着します。



募集人員20名様・2月下旬詳細決定

EVENT 3 第一回初心者向け ふくぎんパークゴルフ大会

4 月中旬予定 開催地: 福島市 出発地: 現地集合

第一回初心者向けふくぎんパークゴルフ大会を開催します。指導員からパークゴルフの講習を受け、実技練習をした後、2コース18ホールの大会を開催します。道具を持ってなくても誰でも参加可能です。協力: 福島市パークゴルフ協会



募集人員30名様・3月上旬詳細決定

EVENT 4 ふくぎん社会科見学～新たな福島之光～ 原子力災害ロボットと夏再開予定「ウイレッジ」見学

4/13 金 開催地: 富岡町・楳葉町 出発地: 福島市

富岡町で、震災時の富岡町を撮影した映像をVRで鑑賞をした後、夜ノ森の桜等、富岡町内を巡ります。また、平成30年夏、一部営業を再開する株式会社「ウイレッジ」。公開前のホテルの内部や工事中の全天候型サッカー練習場を見学します。さらに、楳葉遠隔技術開発センターでは、原子力災害のロボット等の説明を受け実際に動いているところを見学します。



募集人員40名様・3月中旬詳細決定

EVENT 5 地元クローズアップ第5弾～石川町～ 2000本の桜が作る「桜谷」と山菜摘み

4/17 火 開催地: 石川町 出発地: 会津若松市・郡山市

約2000本の桜が咲き誇る石川町のおよそ6キロの桜並木。その中の一番の見どころを石川町さくらボランティアガイドと一緒に巡ります。桜の解説やビューポイントの説明付。さらに、「農園cafeやい子ばあちゃん」にて山菜摘みを体験します。昼食は採れたて野菜や無農薬のお米を使ったランチ。



募集人員25名様・3月中旬詳細決定

EVENT 6 地元クローズアップ第6弾～柳津町～ 歩いて満喫「春の柳津町」

4/26 木 開催地: 柳津町 出発地: 福島市・郡山市

赤べこでも有名な福満虚空藏菩薩開眼蔵寺から弘法大師が杖を突いて満ちたという弘法大清水、春にしかみることが出来ない国の天然記念物の「うぐい」の群生地まで歩いて巡ります。また、斎藤清美術館を学芸員の解説付で見学。



募集人員40名様・3月下旬詳細決定

EVENT 7 母の日に贈る 愛情たっぷりカーネーションバスケット作り教室

5/8 火 開催地: 郡山市 出発地: 現地集合

母の日に贈る、造花を使ったカーネーションバスケットを作ませんか？今回はカーネーションでブードルアレンジを作ります。造花で作るので一生の思い出として残ること間違いなし！講師: Fumie アトリエ



募集人員20名様・4月上旬詳細決定

EVENT 8 歴史のスペシャリスト菅野淳一氏とゆく 会津まほろば街道～南部編～

5/11 金 開催地: 会津美里町 出発地: 福島市・郡山市

会津盆地の西側を南北に走る通称「会津まほろば街道」。今回は、街道の南部に点在する、龍興寺や合資会社白井酒造店、法用寺から中田観音までを菅野さんの解説付で巡ります。協力: NPO法人ヒューマン・ネットワークふくしま



募集人員40名様・4月上旬詳細決定

EVENT 9 戊辰戦争150周年！「奥州街道」に眠る戊辰戦争の跡を訪ねて

5/17 木 開催地: 白河市 出発地: 福島市・郡山市

戊辰戦争150周年に合わせて、白河の関を出発点に最大の激戦地「福山」を通り小峰城まで、「奥州街道」沿いにある戊辰戦争ゆかりの史跡等をボランティアの解説付で巡ります。街中の関川寺や皇徳寺等を歩いて訪ねます。



募集人員25名様・4月中旬詳細決定

EVENT 10 旧家のここがすごい～福島市編～ その土地ならではの旧家の特徴を探れ

5/24 木 開催地: 福島市 出発地: 福島市

漆喰のレリーフが施されている洋室が残る嶋貫邸、吾妻山から500人がかりで運んだ石が残る日本庭園を持つ矢吹邸、茅葺屋根が残る佐藤邸の三家を巡ります。ご当主に旧家の特徴や成り立ちについてお話を伺います。昔ながらの家具や道具まで見学できます。



募集人員20名様・4月下旬詳細決定

●イベントは詳細決定前でもお申込みいただけます。●イベントは天候等によって内容や日時に変更がある場合がございますので予めご了承ください。 ※写真は全てイメージです。

詳しくはフリーダイヤルまたはお近くの福島銀行の窓口にておたずねください。
0120-40-2940 <http://www.fukushimabank.co.jp/> **福島銀行**
 [受付時間] 午前9時～午後5時(土・日・祝日を除く)

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業

福島銀行 10 大イベントの企画提案

NO.003

団 体 名	NPO 法人裏磐梯エコツーリズム協会
所 在 地	耶麻郡北塩原村大字松原字小野川原 1092-65 裏磐梯サイトステーション内
担 当 者	理事長 眞野眞理子
電話番号	0241-23-7860
メ ー ル	info@eko-urabandai.com
企画内容	「裏磐梯でジュンサイの摘み取り体験・調理と周辺散策」(仮称) 【実施時期】 7 月初め～8 月初め 【日帰りツアー (案)】 9:45 ジュンサイ畑集合→10:00/11:30 摘み取り体験 (船の乗り方・摘み取りレクチャー) →11:45 サイトステーションにて調理→12:00 昼食→13:00/14:30 レンゲ・中瀬沼散策→15:00 終了式→15:15 出発 【予算】 摘み取り体験(保険代)1,600 円 昼食(調理指導つき) 1,000 円 レンゲ・中瀬沼散策(ガイド付き) 1,000 円 合計 3,600 円 【参加者準備】 ぬれても良い格好(着替え)、長靴、タオル、帽子、かっぱ、日焼け止めなど 【人数】 5 名~20 名程度 中高年(45 歳~70 歳くらいまで) 中心
備 考	村と NPO 法人裏磐梯エコツーリズム協会が共同でジュンサイ復活協議会を立ち上げました。摘み取ったジュンサイはお土産とします。

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター
(ふくしま地域活動団体サポートセンター)

担当：後藤一光

TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業
福島銀行 10 大イベントの企画提案

NO.001

団 体 名	NPO 法人いわき鳴き砂を守る会
所 在 地	いわき市内郷高坂町立野 130-61
担 当 者	事務局長 小堀 亨
電話番号	090-9532-7666
メー ル	9xt2vi@bma.biglobe.ne.jp
U R L	http://www.nakisuna.com/
企画内容	「鳴き砂体験とサンドアートづくり」 ①時期：7 月 14 日（土）または 15 日（日） ※日程についてはいわき市の「海開き」日が決まっていないので 現在は、ほぼこの日あたりということになります。 ②場所：いわき市薄磯海岸（または豊間海水浴場） いわき市「海開き」の会場にて ③内容：（１）鳴き砂の体験 （２）サンドアート（砂の像）の制作 （３）いわき鳴き砂を守る会の活動紹介 ④時間：2 時間くらい（内容に応じて時間調節は可能です） ⑤費用：材料費等、特になし ⑥参加キャパ：20 名くらい（超えても大丈夫です）
備 考	取り合えず会場に来ていただければ大丈夫です。

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター
 （ふくしま地域活動団体サポートセンター）

担当：後藤一光

TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業
 福島銀行 10 大イベントの企画提案

NO.002

団 体 名	NPO 法人いわき鳴き砂を守る会
所 在 地	いわき市内郷高坂町立野 130-61
担 当 者	事務局長 小堀 亨
電話番号	090-9532-7666
メ ー ル	9xt2vi@bma.biglobe.ne.jp
U R L	http://www.nakisuna.com/
企画内容	「いわきプラージュ～鳴き砂とサンドアート体験」 ①時期：9月7日（金）～9日（日） ②場所：いわき駅前多目的広場の会場にて ③内容：（１）鳴き砂の体験 （２）砂絵教室 （３）サンドアート（砂の像）の制作 （４）いわき鳴き砂を守る会の活動紹介 ④時間：2時間くらい（内容に応じて時間調節は可能です） 9/7（金）9:00～16:00 で可能 9/8（土）10:00～16:00 で可能 ※11:00 頃から高校生フラダンスの披露あり 9/9（日）10:00～15:00 で可能 ⑤費用：材料費等、特になし ⑥参加キャパ：20名くらい（超えても大丈夫です）
備 考	取り合えず会場に来ていただければ大丈夫です。 “プラージュ”とはフランス語で浜辺の意味。いわき駅前に浜辺を作って砂に触れあいながら楽しみましょうというイベントです。

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター
 （ふくしま地域活動団体サポートセンター）

担当：後藤一光

TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp

報告(2)NPOのスキルを活用して企業内での社員研修の実施

■NPO／特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター

■企業／A:株式会社 福島銀行

B:こころネット 株式会社

C:倉島商店 株式会社

①協働事業の内容や目標

ふくしまバリアフリースターセンターが制作した冊子「みんながまた来なくなる ふくしまのおもてなし～入門編～」を活用してNPOスタッフが講師となり、企業内(各店舗等)における障がいのあるお客様へのバリアフリーでのおもてなしを実現するための「バリアフリーおもてなし勉強会」を実施する。

②双方のメリット

NPO／自団体の事業を展開する場を得ることができ、さらに活動PRに繋ぐこともできる。

企業／自社にないNPOスキルを学ぶことができ、自社事業に活かすことができる。

③成果または進行状況

A:福島銀行では平成30年4月以降に内容詳細について実施可能かどうかともあわせて更なる打合せを予定している。またマッチング会がきっかけで、ふくしまバリアフリースターセンター主催3月21日(水)実施「花見山観光サポートセミナー」について参加者募集の告知を福島銀行の社内報に掲載し社員に周知することとなった。

BとC:平成30年3月末現在、こころネットと倉島商店については社内検討中。

こころネットでは「自社の終末期サポート等についてNPOとの協働の可能性を探りたい。NPOと協働し現場の情報を得ることで今までより一歩踏み込んだサポートができないか。店舗設計など顧客の利便性向上にNPOのノウハウも活かしていきたい。自社で行っている高齢者支援活動でもお互いのノウハウを共有していきたい」との考えあり。

倉島商店では「自社の社内研修にNPOのノウハウが活かさないか。逆にNPOからの職場体験を受け入れることでNPOへのノウハウ提供や、協働事業に伴う社内活性化やCSR活動拡大の可能性がないか探りたい」との考えあり

協働に関する資料

資料90201 冊子「みんながまた来なくなる ふくしまのおもてなし～入門編～」の表紙

資料90202 冊子「みんながまた来なくなる ふくしまのおもてなし～入門編～」の中身一部

お客様と接する皆さまへ（宿泊施設・飲食店・交通事業者など）

みんながまた来たくなる ふくしまの おもてなし

～ 入 門 編 ～



特定非営利活動法人
ふくしま
バリアフリー
ツアーセンター

Welcome
to
Fukushima
City



車イス利用のお客様をおもてなし

- 全く歩けない方や、長い距離が歩けない方がいます。
- 足が不自由な方は、車イスや杖などを使って移動します。
- 足だけではなく、全身に障がいがある方や話すことが不自由な方もいます。
- 階段はもちろん少しの段差、デコボコ、急勾配にも支障があります。
- 車イスは、幅の狭い所は通れません。高い所に手が届きません。
- 利用できるトイレが少なくて困ります。



車イスについて知っておきましょう

※機種によって若干異なります。



基本のおもてなし

- 1 困っている人がいたら勇気を持って「何かお手伝いしましょうか」とお声がけしましょう。お手伝いが必要か、またお手伝いの方法についてご本人にうかがいます。



同じ目線になって話しましょう。



介助者ではなく本人と話しましょう。

例えばこんなお手伝い



高い所の物を取ってあげましょう。



ドアを開けてあげましょう。



近くの「多機能トイレ」の案内ができるように調べておくとういでしょう。

もうひとつの心づかい



届く位置に呼び鈴を設置するとよいでしょう。



車イスが通れるか検証しておくとういでしょう。



段差を減らす工夫をするとういでしょう。

報告(3)企業のリサイクル理念の普及にNPOのスキルで協力する

■NPO／A:NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

B:NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク

■企業／荒川産業 株式会社

①協働事業の内容や目標

荒川産業所有の「くるりんこミュージアム」を使用して、CSRの一環として取り組むリサイクルの理念を普及させるためにNPOのスキルを活用してリサイクルをキーワードにした勉強会や工作教室等のイベントを実施する。

②双方のメリット

NPO／自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋がっていく可能性も生まれる。

企業／自社の理念を分かりやすく伝えることができるとともに自社施設を有効に活用することができる。また社会貢献活動の一環として企業イメージのアップにも繋がられる。

③成果または進行状況

A:平成30年4月21日(土)昭和村公民館企画の荒川産業工場見学(小学生18名)の際に裏磐梯エコツーリズム協会が「くるりんこミュージアム」で水源の環境保護や水のリサイクルに関するミニ勉強会を実施。

B:平成30年7月～8月に荒川産業と喜多方市民活動サポートネットワークが協働で「くるりんこミュージアム」にてリサイクルの古布を利用した「裂き織り教室」を開催する予定。また今後「牛乳パックを使った工作」などこの工作教室はシリーズ化していく予定。

さらにマッチング会をきっかけに平成30年7月23日(月)喜多方市民活動サポートネットワークが実施する「夏休み宿題お助け広場」にて荒川産業がリサイクルに関する工作やゲームコーナーにおいて協力する予定。

協働に関する資料

資料90301 裏磐梯エコツーリズム協会の企画提案書

資料90302 喜多方市民活動サポートネットワークの企画提案書

資料90303 ミニ勉強会の配布資料

NPO と企業とのマッチング事業 企画書

2018年3月23日

企画名	荒川産業（株）リサイクル施設見学に伴う提案（小学4年生～中学生編）		
	「もうひとつのリサイクル」	期間	通年、第1回4/21（土）
団体名	NPO 法人裏磐梯エコツーリズム協会	担当	眞野眞理子
背景	小中学生とその親子などに向けて行っている御社の取り組みに、自然環境や水のリサイクルなどを組み込み、自分たちの地域の環境を学ぶきっかけとしていただければ、子どもたちの視野も更に広がっていくのではないかとされる。ゴミの分別方法とリサイクル施設の見学によって、生活ゴミの処分について学び、その際、見えない生活ゴミである「水（汚れの入った混入水）」についても考察できる学習の機会を提案する。		
概要	御社に見学に来た小中学生に対し、職員の方から生活ゴミの処分について説明を受けたあと、もうひとつのリサイクルである汚水に焦点をあて、更に廃棄物について理解を深める。その際、ペットボトルや缶に残った中身などにも注意を向ける。		
対象年齢	小学4年生～中学生まで		
目的	使用された水のゆくえをたどることで、自分の使う水にも責任を持つことができる。		
メリット	飲み残しをしないよう最初から飲みきれ分量にするなど自分の適量を考えることもでき、無駄な買い物をしないことに繋がる。		
スケジュール	荒川産業リサイクル工場見学 → くるりんミュージアムの資料室見学説明 → 裏磐梯エコツーリズム協会の取り組みの紹介 (→また将来的にはそのまま裏磐梯に移動し浄水場の見学などを入れることも可能です。今後検討していければと考えています。)		
予算	「もうひとつのリサイクル」チラシ（参考資料別途添付）印刷代は？		
準備物	チラシ、パネルなど		
備考	まず4月21日（土）の昭和村公民館さんの見学で上記内容でやってみて、問題点など修正を加えつつ少しずつ進めていければと考えています。		

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター（ふくしま地域活動団体サポートセンター）

TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp 担当：後藤一光

平成 29 年度 NPO と企業とのマッチング事業 企画提案書

2018.3.30

団 体 名	NPO 法人喜多方市民活動サポートネットワーク（さぽねっと）
所 在 地	福島県喜多方市字水上 6846 喜多方市厚生会館内
担 当 者	渡部美加
電話番号	0241-22-1186（厚生会館事務室）
メ ー ル	kouseikaikan.kitakata@gmail.com
企画内容	<u>リサイクル古布を使った「裂き織り体験」(仮称)</u> ・趣旨：「リサイクル」をキーワードにした工作教室を実施し、「くるりんこミュージアム」を有効活用するとともに、参加者のリサイクルについての関心を深め、リサイクル関連知識等を伝える機会とする。 ・内容：裂き織り体験 ・会場：荒川産業「くるりんこミュージアム」にて ・実施時期：7月～8月ごろの午後あたり ・体験時間：2時間ほど（糸通しなど下準備含めず） ・講師：喜多方市社協 高齢者生産活動センターの経験者をお願いする ・織機：高齢者生産活動センターよりお借りする（最大で 10 台） ・参加者：一般の方をチラシ等により募集する（親子可、最大 10 組まで） ・参加費：ひと織り（60 cm×25 cm）につき材料代として 700 円 ※制作物は持ち帰ることができる。 ----- スタッフ事前体験として・・・ 6/10（日）高齢者生産活動センターの「センターまつり」にて裂き織り体験をすることが可能です。
備 考	喜多方さぽねっとのホームページ http://shiencenter-kitakata.jp 喜多方市社協 高齢者生産活動センター http://www.kitakata-shakyo.or.jp/facility/katsudo_center/

詳細の聴取や打合せ等につきましては下記窓口までお問い合わせください。

<マッチング事業窓口>

特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター
 （ふくしま地域活動団体サポートセンター）担当：後藤一光
 TEL 024-521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp

もう一つのリサイクル

みんなが飲んでる“水”のこと。ホントに知ってる？

ビンや缶、燃えるゴミ。分別するのは当たり前のこと。

みんなも、お父さんやお母さんのお手伝いで、「可燃物」「不燃物」「資源ごみ」

「リサイクルできるビンや缶」など、捨てる前に分けたことがあるよね？

でも、みんなが生活の中で出すゴミの中で、もう一つ重要なリサイクル資源があるのだけど・・・
何かわかるかな・・・？ 「そう、それは“水（汚れの入った混入水）”なんだ。」



だから

みんなができる“リサイクル”にご協力お願いします。
「飲み残しゼロ運動」さあ、はじめましょう！



コップに残った麦茶や、ペットボトルに少～しだけ残ったコーラ。
・・・「コレだけだから、流しに捨てちゃおう。」なんて言っちゃうキミ！
「ちょっとまって！！」

このちょっとだけが、浄水場の微生物に負担をかけてしまうんだ。
だから、最初から飲み切れるだけの量をコップに分けたり、きちんと飲み切って
しまう事がとっても大事。おなかの浄化作用のほうが素晴らしいんだから！

NPO 法人 裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701

耶麻郡北塩原村大字桧原小野川原 1092-65

TEL:0241-23-7860 FAX:050-7541-2411

<http://www.eco-urabandal.com>

報告(4)NPOの情報発信を企業のスキルで協力する

■NPO/A:特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

B:特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリースターセンター

■企業/福島コミュニティ放送 株式会社

①協働事業の内容や目標

NPOの情報発信力の不足を企業のスキルでバックアップし、また企業の情報収集力をNPOの地元密着型のネットワークで補う。具体的にはNPOの実施する事業やイベントの情報をFMポコという地域コミュニティ放送の番組で取り上げ、NPOスタッフ出演のもと情報発信を行った。

②双方のメリット

NPO/自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋がっていく可能性も生まれる。

企業/自社のみでは収集が難しい地域密着の情報を得ることができ、また地域メディアを有効活用していただける。

③成果または進行状況

今回のマッチング事業をきっかけとして、以下の3事例が実現した。

A:12月18日(月)17:20よりビーンズふくしまのスタッフが生放送番組「みんなのラジオ～FUKUSHIMA TOWN VOICE～」に出演し、同団体が現在実施している社会福祉法人福島県共同募金会「地域課題解決型募金」を活用した「子供の居場所づくり」事業の寄付協力の告知を行った。

B:3月5日(月)17:20よりふくしまバリアフリースターセンターのスタッフが生放送番組「みんなのラジオ～FUKUSHIMA TOWN VOICE～」に出演し、同団体の活動紹介と3月21日(水)実施の「花見山観光サポートセミナー」の参加者募集について告知した。

B:3月27日(火)ふくしまバリアフリースターセンターのスタッフが収録番組「原美子と木曾明美のポコッ3とチャレンジ」(放送は3月31日(土)17:30より)に出演し、同団体の旅行企画「花見山ゆったりおさんぽコース」のPRをおこなった。

その他、FMポコのスタジオ前の掲示板へのポスターチラシ等の掲示協力をいただくなどした。

以上3事例であるが、福島コミュニティ放送としては今後も「地域情報の収集、発信の方法のひとつとしてNPOからの地域情報を提供いただきたい」とのことであった。

協働に関する資料

資料90401 ビーンズふくしま共同募金会資料(抜粋)

資料90402 「花見山観光サポートセミナー」チラシ

資料90403 「花見山ゆったりおさんぽコース」チラシ

プロジェクト

1

子どもの居場所づくり

特定非営利活動法人

ビーンズふくしま



安心できる居場所を、不登校・貧困を背景に孤立する子どもたちへ
子どもの居場所を創出し、地域と関わりながら子どもたちの生きる力を育む

【現状】

私たちは、不登校、貧困等の理由で、社会から孤立しがちな子ども・若者の支援をしています。「自分が大切な存在だ」という自己肯定感をもてる、安心できる居場所で、多様な学びや人とのつながりを通して子どもたちに「生きる力」を育んでほしいと願っています。「学びたい」「人とつながりたい」という思いは子どもが本来持っています。人間関係で傷ついたり、孤立している子どもが、その思いを叶えられる居場所が必要です。

【取組内容】

- 仲間とつながり、ほっとできる居場所づくり
 - 子どもの自信を育む社会貢献活動・体験活動
 - 困窮家庭の子どもへの学習支援と食事会
- 【目指す成果】

安心できる居場所での体験や経験を通して、不登校や貧困で孤立していた子どもたちの自己肯定感の向上を図る。そして、子どもたちが自ら意思をもって、進路や生き方を決め、社会とつながっていけるようになる。

◆実施日◆

◆時間◆

◆集合場所◆

A cartoon illustration of a young girl with dark hair, wearing a grey shirt and a skirt, sitting in a wheelchair. A white rabbit is sitting on her back, facing forward. The girl is smiling.

◆セミナー◆
内 容

晴天の場合・・・多目的広場で簡単な説明後、実際に車いすの方をサポートしながら比較的なだらかなコースを歩きます。
インスタ映えスポットやコースの再確認も行います。
※雨天の場合は行いません。

◆申込締切◆

平成30年3月5日（月）までに下記へ
・氏名・年齢・住所・電話番号をお知らせください。
後日改めて担当者より詳細をご連絡いたします。

◆その他◆

車いすを押すので両手が空く様な活動しやすい服装（スニーカー、スポン等）でご参加下さい。寒さが予想されますので、防寒着もご準備ください。

＜主催＞ NPO法人 ふくしまバリアフリーツアーセンター

＜共催＞ (一社) 福島市観光コンベンション協会
ふくしま花案内人

【申込先・問合せ】

ふくしまバリアフリーツアーセンター TEL&FAX 024-531-7382 (担当 佐藤・佐々木)

○車いす利用の方やお身体に不安のある方へ。

おさんぽコース参加者専用駐車場をご用意しました！

花見山ゆったりおさんぽコース

車いす利用の方が花見山の美しい風景を「安心して」ご覧いただけるよう、車いす介助ボランティアとボランティアガイド「ふくしま花案内人」が散策をお手伝いします。サクラ、ハナモモ、ロウバイ、レンギョウなどが咲き乱れる、福島県桃源郷「花見山」をゆったりお楽しみ下さい。



＜花見山公園 ※イメージ＞



＜車いす介助バー（JINRIKI）を使って案内 ※イメージ＞

＜出 発 日＞ 平成30年4月1日(日)～22日(日)

＜出発時間＞ ①10:00～ ②13:30～ ※各回1組限定

＜旅行代金＞ 4,000円 ※花見山環境整備協力金を含む

＜行程＞（…徒歩）

花見山本部付近（集合時間：5分前）

…ウォーキングトレイル……**花見山公園**……物産ひろば……花見山本部
（ゆずりあいコースを散策）

◆申込締切：出発日の7日前まで

◆所要時間：約1.5時間

◆募集人員：各回1組 車いす1台（最少催行人員1名）

◆ガイド：ボランティアガイドふくしま花案内人 ◆車いす介助：ふくしまBFTCボランティアスタッフ

※旅行当日に雨天・荒天が予想される場合

お客様とご相談のうえ、天気予報を参考に、事前（旅行前日）に中止とする場合がございます。その場合、取消料は不要ですが、返金に伴う振込手数料はお客様負担をお願いします。

※ボランティア手配等の都合により、希望の日時・時間の申込をお受けできない場合がございます。

※車いすの方2名まで対応可能ですが、料金等の詳細についてお問合せ下さい。

※介護事業者からのお申込みはご遠慮下さい。

＜旅行企画・実施＞ 福島県知事登録旅行業 第2-324号 （一社）全国旅行業協会会員

（一社）福島市観光コンベンション協会 TEL:024-531-6432

〒960-8031 福島市栄町1-1（JR福島駅西口2F） 総合旅行業務取扱管理者 高橋 康 E-mail:kankou@f-kankou.jp

＜企画協力＞ NPO法人 ふくしまバリアフリーツアーセンター

TEL/FAX:024-531-7382 E-mail:fukushima-bftc@bz03.plala.or.jp

報告(5)NPOの事業展開の場を企業に求める

■NPO／特定非営利活動法人ビーンズふくしま

■企業／A:こころネット 株式会社

B:タカラ印刷 株式会社

①協働事業の内容や目標

ビーンズふくしまの実施している厚生労働省認定「ふくしま若者サポートステーション」事業のひとつである「職場体験・就労支援事業」を、こころネットおよびタカラ印刷の社会貢献の一環として受入れていただけないかとの提案。

②双方のメリット

NPO／自団体の事業を展開する場を得ることができる。

企業／CSRとしての社会貢献活動をPRすることができ企業イメージのアップにも繋げられる。

③成果または進行状況

平成30年3月末現在、こころネットおよびタカラ印刷ともに社内にて検討中とのこと。

協働に関する資料

資料90501 「職場体験・就労支援事業とは」

資料90502 「職場体験の流れ」

職場体験・就職支援事業とは……

職場体験を通して、社会参加の実感と、職業理解や仕事に対する自信をつけ就職への一歩を踏み出すことを目的としています。

職場体験期間

1週間（5日）以上～3ヶ月以下
1日 4時間以上8時間以下
（1週当たり 20時間以上40時間以下）

（例）

1日4時間×5日間→20時間
1日6時間×5日間→30時間
1日8時間×5日間→40時間

労働賃金・交通費等の発生、雇用に結び付くような条件等は一切ありません。

「お仕事を体験する場」を必要としています。
就職への一歩が踏み出せない若者のために「お仕事を体験する場」をご提供いただけませんか？ご協力をお願い致します。

職場体験の流れ

募集開始

- ・希望者の募集
- ・プログラムに関する説明の実施

事前打合せ

- ・体験期間の日程、体験内容はサポステと打合せの上決定

体験期間

- ・受入れ先企業様、プログラム参加者のフォローアップにサポステスタッフが伺います。

体験終了

- ・参加者の評価をお願いします。
- ・「職場体験報告書兼請求書」のご提出
- ・連絡会議の開催

報告(6)NPOのスキルで企業のウェブサイトによる情報発信へのアドバイス

■NPO／特定非営利活動法人ふくしまバリアフリースターセンター

■企業／倉島商店 株式会社

①協働事業の内容や目標

ふくしまバリアフリースターセンターからの提案で、クラシマ各店舗のバリアフリー情報をウェブサイトで公開し店舗利用者に的確な情報を伝える。

②双方のメリット

NPO／自団体の理念(バリアフリー)の普及を遂行できる。

企業／NPOのスキルを活用し自社の店舗施設の見直しや顧客の利便性の向上に繋げられる。

③成果または進行状況

このマッチング事業をきっかけに、クラシマ各店舗のバリアフリー情報を伝えるウェブページが5月に公開予定となる。

報告(7)NPOの活動告知の場を企業に求める

■NPO／特定非営利活動法人ビーンズふくしま

■企業／倉島商店 株式会社

①協働事業の内容や目標

倉島商店が開催する秋の「感謝祭」でのボランティアスタッフの提供、ステージ上やNPOブースでの団体活動の告知

②双方のメリット

NPO／自団体の活動を広くPRすることができる。またそれにより次の展開として寄付や活動協力等に繋げていく可能性も生まれる。

企業／CSRとしての社会貢献活動をPRすることができ企業イメージのアップにも繋がられる。

③成果または進行状況

倉島商店が秋に開催する「感謝祭」イベントにてビーンズふくしまの若者支援事業の一環としてボランティアスタッフの派遣や団体ブースの設置、ステージへの出演および団体活動の告知などについて、H30年4月以降に再度話し合いの場を設けて進めていく予定。

平成29年度NPOと企業等のマッチング事業実施後アンケート集計(NPO)

平成29年10月～12月に実施した福島県主催のNPOと企業の協働マッチング事業について以下の質問にお答えください。

Q1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- 企業の皆様にアピールできる数少ない機会を頂きまして、非常に有意義でした。また、プレゼン講座も非常に勉強になりました。
- 他のNPOの活動を知ることができ、また、企業はどのようなニーズを求めているのか？NPOに期待しているのかがわかる貴重な体験となりました。今後の活動に生かせると思いました。
- 企業との協働について、漠然としか考えていませんでしたが、自分たちが何を提供できて、何を提供してもらいたいかということ整理する機会となり良かったです。
- 私どもとしては、NPOの設立をしたばかりであり大変ありがたい事業だった。
- 参加企業の反応、意識の高さに感心しました。今後各企業とのコラボが楽しみです。
- 普段の業務内容では、会うことがない企業との出会いができとても良かったのですが、終わった後の繋がりとどのようにすればいいのかが難しいところです。
- 大変勉強になりました。事業の内容が具体化されていない現状であったため、なかなかマッチする企業さんはいなかったと思いますが、パワーポイントの作り方等別の方面で勉強になりました。
- 大変参考になりました。
- 様々な企業から地域貢献を熱心・真剣に考えて下さる皆様、そしてNPOの皆様とお会い出来てとても有意義でした。
- 中間支援として参加させて頂きました。業界としては想いを目標として活動をしがちですが、実は目標としている想いの整理ができておらず、企業とマッチングする際に足りないところばかりで難しさを感じました。
- 説明が全般に多すぎる。個体が参加するのであるから、もっと真剣にいかないとダメ。

Q2. 企業との協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 一度のマッチング機会だけではなく、サポートセンターのアフターフォローもあり、担当者同士しっかりつながることが出来始めていると思います。お互い負担にならない範囲でまずはできるところから取り組みたいと思います。
- 企業にとっては不得手であったり、やりにくいことでも、私たちNPOの可能な範囲で協働できることを再考せねば。
- さっそく地元企業とつないでいただいたので、うまくいくよう協力しあいたいと思います。
- 従来行っている活動が、ご紹介いただいた企業とどのように連携できるのかを探っていきたいと思います。
- 平成30年度のメインの新規事業として、鳴き砂ミュージアムの開設：常設展示。継続してきたこと、6月いわき子どもまつり(砂絵、砂あそび)。7月アクアフエス(清掃、鳴き砂・線量調査)、いわき市海開き支援。9月いわきプラージュ(いわき駅前に砂浜)。10月避難者支援。随時砂絵教室を企業協働もかんがみながら実施していきたい。

- 当法人の基盤強化(スタッフを増員していつでも動ける体制づくり)。
- 事業内容を具体的にし、何を協働するのかを明確にする。
- もう少し内容を煮詰めて話をしたいと思います。
- 劇団が得意とするエンターテインメントを通じて、福島県内の〈生きる力〉をより一層向上させられる活動を続けて参ります。
- 自主事業の整理(相手に伝わる事業)と企業が求めていることへの連携について出来ることへの整理(勉強・スキルアップ)。
- 今後、各レベルでの関係を強めていきます。

Q3.マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

1.実施期間 (平成29年度は11月末～12月上旬に実施)

- 次年度の事業計画にも反映できるので良い(もう少し早くても可)連携までには時間がかかるため。
- 企業やNPOが翌年度の活動として取り込みやすい時期であるのがBEST。
- 特に問題ないと思います。
- 繁忙期の準備が終わると比較的時間が取りやすい。
- 大変良い時期でした。
- 特に問題はありませんが、できれば春先に行えれば当法人の活動にお誘いもできるタイミングで助かります。
- 問題ない。
- 問題ないかと思われます。
- 12月中旬を希望。
- 11月ごろが良い。

2.いわき・福島・会津3地域に分かれての実施について

- 各地域の企業が地域ごとに集まるので良い。
- 地元指向の強い内容だと、地元での受講でいいと思うが、日程が合わず、他地域を受講された方と、思わず交流できたのも楽しかった。
- 会場が近いので良いけれど、事前講座はいろんな地域の団体を知る機会となったり、参考にさせていただいたりできるので分けなくてもよい気もします。
- 地域同士で手を繋いでいくことが大事だと思うので、第一段階としては良かったと思う。
- 今後、いわき以外のマッチング会にも参加していきたい。
- できれば一カ所(会場が難しいと思いますが)だと、より多くの企業との出会いや、違う地域で活動しているNPO法人とも繋がりが持てると思います。
- 一カ所でやるべき。
- 郡山での開催もあれば、より多くの企業が参加できるのではないのでしょうか？
- 福島市への参加を希望。
- よろしい。

3.実施内容

(1)アプローチ講座

- 非常に勉強になりました。
- 各々、発見があり良かった。どう熱い思いを伝えればいいのかの技を教えていただいた。
- 自団体を見つめ直す機会となり良かった。プレゼン講座はやはり少人数のほうがやりやすいと思います。
- 再度確認することにつながり良かったと思う。
- 良い勉強の機会になった。
- アプローチ講座では、どのようにアプローチすれば良いのかを知ることができて、とても良かったです。
- プレゼン講座も事前の練習をするなかで、伝え足りない部分などを指導していただけて、本番を迎えられたのでとても良かったです。
- 参考になりました。
- とても勉強になりました。有難うございます。
- とても必要なスキルだと思う。
- プレゼン中心に、時間配分に気を付けたい。

(2)マッチング会

①NPOから企業へのプレゼンについて

- 企業からのフィードバックがもっとあると良い。
- 具体的なアドバイスをいただけて参考になった。
- 時間制限があつたが、守られていない。思いのたけをぶつけることも検討。
- 事前練習があつたので、何とか落ち着いてプレゼンができたと思いますが、内容を盛り込みすぎたか当法人について、どのくらい伝えられたかが疑問です。
- 可能なら、もう少し時間が欲しいですし、動画も使用させて頂ければと思います。
- 企業との交流をととても希望しているので、今後も勉強会に参加したい。
- 内容が弱かった。(反省)

②プレゼン後のNPOと企業とお見合いについて

- 意見交換などの時間がもっとざつぐばらんな会になれば良い。
- 多少、予め企業が何を期待して参加されたかがわかる情報があれば、フォーカスした内容も考えられたかも。
- 伝えきれなかったことをじっくりお話しできて良かったです。地域の企業だからこそ、すぐにつながれそうな感じもあり、ここは地域ごとで良かったと思います。
- 良い関係を築いていかなくてはと思っている。
- お互いに気持ちを伝えることができた。
- 福島会場は、NPOより企業の参加者が多くて、2社同時の話し合いでは、会話がどうしても一社に偏っていた気がします。
- お見合い形式だとじっくりお話しができますが、どうしても形だけの会話になってしまうような気がします。もし

かしたら立食しながらの会話の方が、もっと突っ込んだお話ができたかもしれません。

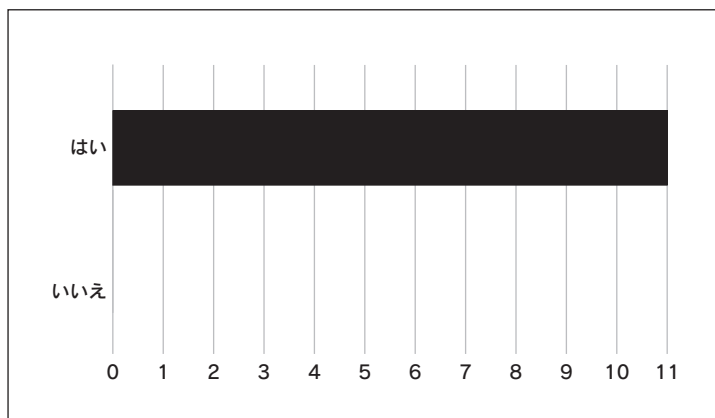
- 企業が何を求めているのかを知りたかった。
- 企業様からの意見などが送られてくると有難いです。
- 開催される場所と天候次第なのかも…。

4.その他改善点や希望があれば

- 私たちはプレゼンそのものに慣れていないので、このような経験は貴重。
- 今回は、NPOが企業にお願いする形でマッチングが進みましたが、逆に企業がNPOと行っていきたい協働のプランの提案などを進めていきたい。
- やっただけでなく、実業として展開できればうれしいです。
- 企業側の参加が足りないとの意見がありました。
- 両側ともに、賑やかな参加を。

Q4.来年度(平成30年度)も同事業が実施された場合参加しますか？

	回答数	%
1. はい	11	100
2. いいえ	0	0
回答者数	11	100



理 由

- ただし、企業の期待されている内容と私たちの活動とがすり合わせられそうなら。あまりにもかけ離れていると、活動を知っていただく場にしかないかも。
- 当会としては、協賛・協働できる企業を探索していきたい。
- 新たな出会いを作りたい。

平成29年度NPOと企業等のマッチング事業実施後アンケート集計(企業)

平成29年10月～12月に実施した福島県主催のNPOと企業の協働マッチング事業について以下の質問にお答えください。

Q1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- 超高齢社会・少子化→特に子ども達との関わりの重要性を深く感じました。
- それぞれの活動内容を知ることができ、また当行の取り組みを知っていただくことが出来るいい機会だと思います。
- NPOの様々な活動を知ることができた。
- NPOの具体的な活動内容をそれぞれ伺うことができたので有意義であった。
- 初の参加だったので新鮮でした。
- CSRの考え方に加え、CSVの概念について新たに学び、大変参考となった。次年度の方針策定に盛り込んでいきたい。
- 情報不足であったため、各NPOの様々な取り組みを知ることができ、当社は何を行うべきか考え直すきっかけとなった。
- 各NPOが色々な取組みを行っており、参考になりました。
- 各NPO団体様の活動や問題点を聴けたので、自らの業務との共通点を検討することができそうです。とても有意義な会でした。

Q2. 企業との協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 子ども達への教育に役立ちたい計画があるので、情報を共有して実現したい。
- 10大イベント等当行の地域貢献事業とのマッチング、当行の2つの助成事業(ふるさと自然環境基金及びふくぎんみんなのサポート市民活動助成金)をNPO各団体に広く周知していきたい。
- 地域の方たちにもっと活動を知ってもらうこと。
- 「協働」ということになるとハードルは高く感じられるが、お互いの活動内容をお互いの事務所や窓口で周知するなど気軽にスタートできる部分はあるということは実感した。
- 当社が解決すべき社会的課題の再選定を行い、協働可能なNPOについて調査し、シナジーの発揮を目指していきたい。
- 今後、NPOとの協働ができるものがあれば検討したいと思います。
- その後、実現に向けて社内で検討しています。但し、まだまだ理想型には程遠い感じです。出来るところから少しずつ実施していきたいと思っています。

Q3. マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

1. 実施期間 (平成29年度は11月末～12月上旬に実施)

- 9～11月頃がいい。4月～6月なども。
- 会津で行う場合雪の影響もあるため少し時期を早めてもいいと思う。
- 月末・師走という時期は世の中的に忙しいので別の時期にした方がいいと思う。

- 年末の業務繁忙期であるため、それ以外がよい。
- 年末・年度末等の繁忙時期以外は特にありません。
- ベストかと思います。

2.いわき・福島・会津3地域に分かれての実施について

- よいのでは。
- 希望が多いところで開催するのであれば問題ないと思われる。
- あまり広域になるよりいいと思う。
- 地域が分かれているので参加しやすい。
- 可能であれば郡山地域での実施についても期待する。
- 各々の地域性もあり、今後も3地域が分かれての実施が良いと思います。
- 各NPOや参加企業の活動が、主として県内なのか？市町村内なのか？地域的な目的もあるかと思いますが、基本的には3地域別々でやったほうが、わかり易く対応し易いと思います。

3.実施内容

①NPOから企業へのプレゼンについて

- 自己紹介レベルではなく、具体的なマッチング効果はどのようにすればよいかなど提案されると良いのではないかな。
- プレゼンについて、それぞれ同じフォーマットにした方が比較や伝わりやすさが変わると思われる。
- 時間が短かったように思う。
- 非常に分かりやすい内容であり、各NPOの熱意が伝わってきて良かった。
- 各NPOでプレゼン内容の濃淡はありましたが、概ね良かったと思います。
- 各NPOともにわかり易かったと思います。共通のプレゼン用シートを事前に御用意いただくと後々も連絡をつける際に便利だと思いました。

②プレゼン後のNPOと企業とのお見合いについて

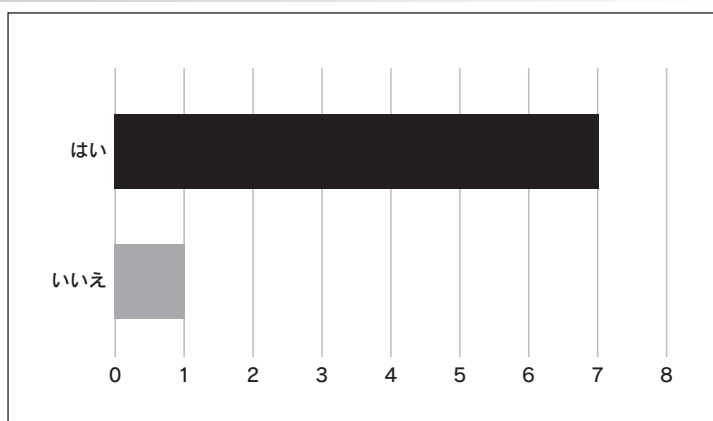
- もう少し時間が欲しい。
- 企業とNPOが必要としている事を事前に確認して互いにメリットになる組合せのみ実施したい。
- プレゼンのみでは分からない点、各NPOが期待している点や本音などの詳細について伺うことができるので良い。
- お互いの顔を見ながらの話し合いとなり、有意義であったと思います。
- 時間の制約がある分、要点を絞った内容にできればわかり易いと思う。

4.その他改善点や希望があれば

- 参加企業が少ない。
- 会津地域は旅行関係に関するNPOが多かったと思われるため参加企業も旅行代理店、JR等が入ると良いのでは？
- この場所で何らかの結果が出る形だと、つながりもはっきりすると思うので、事前に参加団体やNPOの情報があれば良いと思います。

Q4.来年度(平成30年度)も同事業が実施された場合参加しますか？

	回答数	%
1. はい	7	87.5
2. いいえ	1	12.5
回答者数	8	100



理 由

- 時期によっては参加できない場合があります。
- 但し、マッチングできることは限られる(イベント周知等)ため、セミナーを聞くだけの立場の方が良いのではと思います。
- 取組みをPRするいい機会であるため。
- 弊社の事業内容で協力できることが少ない為。参加は難しいかもしれません。